参考－１

〈参考〉名取川水系河川整備計画【大臣管理区間】の構成

平成21年6月
東北地方整備局

１章 計画の基本的な考え方 【P1】

計画の主旨

本計画は、名取川流域の自然・社会・歴史・文化を踏まえた上で、「災害発生の防止」「河川の適正な利用と流水の正常な機能の維持」「河川環境の整備と保全」を達成するため、当面実施する河川工事において具体的事項を示す、河川法第16条2項に基づく法定計画を定めるものです。

計画の基本理念

■都市を流れる川にふさわしい安全性と安心感の実現
○名取川水系は、東北最大の都市を流れる川にふさわしい安全性と安心感の実現を目指す。
○洪水、内水被害、地震等さまざまな災害から沿川地域住民の生命と財産を守るとともに、渇水に対する備えを充実させ、人々が安心して暮らせる安全な川づくりを目指す。
○地域の安全と安心が持続できるよう、流域の自然的、社会的特性を踏まえた継続的・効率的な河川の維持管理に努める。

■都市を潤す豊な自然環境の保全と次世代への継承
○市街地にも見られる豊かな自然環境と河川景観を守り、次世代に継承するため、行政と市民の連携と協働のもと、流域一体となった河川環境の保全、創出を目指す。
○河川環境の整備と保全の適切な実施に向けて、河川環境の適正な管理に努める。

■名取川水系を中心としたコミュニティの創造と活性化
○名取川水系を対象として実施されている活発な市民団体活動を促進するとともに、川の恵みや災害時の恐ろしさを教育する場、川を通じた地域交流の場等を積極的に設け、名取川・広瀬川を中心としたコミュニティの創造と活性化に努める。

計画の対象区間

国土交通省の管理区間（大臣管理区間）である29.4㎞を対象とする

計画の対象期間

計画対象期間は概ね30年間とする

２章 流域の概要 【P5】

２章 名取川の概要

３章 名取川の現状と課題 【P33】

治水

治水に関する事項

【現　状】
・現在の治水安全度は未だ不十分な状況にあり、過去に経験した戦後最大洪水である昭和25年8月洪水と同規模の洪水が発生した場合には、甚大な被害が予想される。
【課　題】
・名取川水系の流出特性と治水安全度のバランスを考慮した河川改修。
・内水被害の顕著な藤塚地区における内水対策計画策定の支援。

利水

利水に関する事項

【現　状】
・古くから水利用が盛ん。
・平成6年渇水や平成14年渇水など、過去に大規模な渇水被害が発生
【課　題】
・既設ダム群の有効活用、合理的な水利用の促進により渇水被害を最小限に抑制。

環境

環境に関する事項

【現　状】
・豊かで貴重な自然環境が随所に存在。
・近年の水質は概ね環境基準値を満足。
・貞山運河等、歴史ある景観資源が多数。
・高水敷整備により利用者数が増加。
【課　題】
・流域に存在する多種多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全。
・関係機関や地域住民と連携した水質の保全・改善。
・歴史的建造物の活用、まち並みと調和した水辺空間の維持。
・健全な水循環系の構築に向けた取り組み。

維持管理

維持管理に関する事項

【現　状】
・有害な植生の侵入による堤防の裸地化。
・施設の大部分が、設置後20年以上経過。
・不法行為による河川空間への悪影響。
・災害に対する危機意識が希薄化。
【課　題】
・老朽化施設の効率的な維持管理。
・不法行為に対する関係機関との連携による対策活動の推進。
・災害に対する防災意識の向上。
・洪水や地震・津波に対する危機管理対策の充実。

４章 河川整備計画の目標に関する事項 【P54】

治水

洪水・高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

○目標設定の背景
○整備の目標
(1) 戦後最大規模の洪水への対応
(2) 河川管理施設等の安全性向上
(3) 内水被害への対応
(4) 大規模地震等への対応
(5) 危機管理体制の強化

利水

河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持に関する目標

○目標設定の背景
○整備の目標
(1) 河川の適正な利用
(2) 流水の正常な機能の維持

環境

河川環境の整備と保全に関する目標

○目標設定の背景
○整備の目標
(1) 動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
(2) 水質の保全・改善
(3) 景観の保全
(4) 人と河川とのふれあいの場の維持創出
(5) 健全な水循環系の構築に向けた取り組み

維持管理

河川の維持管理に関する目標

○目標設定の背景
○維持管理の目標
(1) 河川管理施設の機能維持
(2) 河道の機能維持
(3) 河川空間の適正利用
(4) ダム等の施設および貯水池の管理

５章 河川の整備の実施に関する事項 【P60】

治水

河川の整備に関する事項

○洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する整備
(1) 堤防の整備
　1) 堤防の量的整備
　・堤防の拡幅
　・藤塚地区の堤防整備
　2) 堤防の質的整備
(2) 河道掘削
(3) 内水対策
　・関係機関との連携
　・既設の排水機場等の適切な運用や排水ポンプ車の機動的な活用
　・「仙台東部地区治水対策検討会」のような取り組み強化・充実
(4) 緊急河川敷道路
(5) 老朽化施設対策
　・閘上水門の改築
(6) 河川管理施設の耐震対策

利水

○河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する整備
(1) 水利用の合理化
(2) 正常流量の確保
　1) 広瀬川等への導水　2) 既設ダムの有効活用　3) 渇水時の対応

環境

○河川環境の整備と保全に関する事項
(1) 動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
　1) 良好な河川環境の保全
　2) 自然環境に配慮した河川事業の実施
　3) 外来種対策の実施
　4) 河川環境のモニタリング
(2) 水質の保全・改善
　1) 水生生物調査
　2) 水質改善の啓発
(3) 景観に配慮した河川整備
(4) 人と河川とのふれあいの場の創出
　1) 河川空間の整備
　2) 水辺のネットワーク整備
　3) ダム貯水池周辺活性化支援
(5) 健全な水循環系の構築に向けた取り組み

その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

○住民参加と地域との連携による川づくり
・名取川・広瀬川についての理解を深める機会の提供
・流域住民と関係機関とのパートナーシップ確立
○河川整備の重点的、効果的、効率的な実施
・新技術を活用したコスト縮減および事業の迅速化
・計画のフォローアップ実施
○長期的な目標の達成にむけた調査・検討
・名取川水系河川整備基本方針の達成に向けた調査・検討を継続
・地球温暖化による影響予測を踏まえた適応策や、計画の想定を超過する外力、状況が発生した場合の対応策の検討

維持管理

○河川の維持管理
(1) 河川の調査
　1) 河川の巡視、点検
　2) 河川状況の把握
　3) 洪水後（洪水時）の状況把握
　4) 水文観測調査
(2) 河川管理施設の維持管理
　1) 堤防の維持管理
　2) 樋門・樋管の維持管理
　3) 護岸の維持管理
(3) 河道の維持管理
　1) 河道管理
　2) 樹木管理
(4) 河川空間の管理
　1) 河川空間の保全と利用
　2) 不法行為(不法占用、不法投棄等)の防止
　3) 塵芥処理
　4) 環境教育の支援
　5) 河川愛護の啓発
(5) 管理の高度化

河川の維持に関する事項

○ダムの維持管理
(1) 堤体および湖面の維持管理
(2) 流入土砂対策
(3) 水質および環境の保全

○危機管理体制の整備・強化
(1) 洪水時の対応
　1) 洪水予報及び水防警報等
　2) 洪水時の巡視
　3) 河川管理施設の操作等
(2) 地震、津波対応
(3) 水質事故時の対応
(4) 渇水時の対応
(5) 河川情報の収集・提供
(6) 洪水ハザードマップの活用支援
(7) 水防活動への支援強化